

【令和7年度第46回九州小学生親善ハンドボール大会】

競技上の注意と確認事項

1 競技規則

本大会は、2025年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則及びJクイックハンドボール競技規則（U-12）に則る。

2 競技会場

（1）競技会場・コートの広さは、以下のとおりとする。

競技1日目 11月1日（土）トーナメント

○早水公園体育文化センター（36m×20m3面）

メインアリーナAコートBコート サブアリーナCコート

競技2日目 11月2日（日）トーナメント及び交流戦

○早水公園体育文化センター（36m×20m3面）

メインアリーナAコートBコート サブアリーナCコート

（2）別紙「会場使用上の注意」等を遵守して使用する。

3 種別及び参加人数

○参加人数は、監督1名・役員4名・選手20名、計25名以内とする。

4 競技方法

○競技方法は、トーナメント戦とする。

5 参加資格

（1）チーム役員は、（公財）日本ハンドボール協会公認スポーツ指導者（コーチ1～4、スタートコーチ、スポーツコーチングリーダー）または、JHA認定ビギナーコーチを1名以上有すること。

（2）員登録外のトレーナーがいる場合は、コーチングゾーン終端の斜め後ろ後方に席を準備する。ただし、離席や選手への指示・応援等は一切できず、自席でのけが等の対応のみとする。

（3）チーム代表者は、トス・ユニフォーム確認の際に、テクニカルオフィシャル・審判員と相手チームのスタッフに申告する。

（4）臨時トレーナーについては、別に定める。（※「16」参照）

6 競技日程・時間

（1）競技日程は、プログラムのとおりとする。

（2）競技時間は、1日目13分—8分—13分とし、2日目は15分—10分15分とする。

準決勝までは延長戦は行わず、後半戦の終了時に「7mTC（3名）」を勝敗が決着するまで行う。

(7mTCで3名が同点の場合は、サドンデス方式)

決勝のみ「第1延長→7mTC(3名)とする」とする。延長戦は、後半終了後にトスを行い、5分後「3分—1分—3分」とする。

(3) 交流戦は15分1本とする。

(4) 3位決定戦は実施しない。

(5) 競技時間は、加算式の電光表示板を使用し、コート(ベンチ)の対面で表示する。

(6) 競技終了やチームタイムアウトの合図は、ブザーまたは笛で行う。

(7) 退場者の取り扱いは、以下のとおりとする。

① 退場者の番号と入場時間は、「記録席上に用紙」で表示する。

② 入場の判断は、チームの責任である。記録席から合図することはなく、問いかけても回答しない。

7 試合球は、(公財)日本ハンドボール協会公認1号級および0号級とする。

1日目(男子)モルテン (女子)ミカサ

2日目(男子)ミカサ (女子)モルテン

8 トス・ユニフォーム

(1) トスは、ユニフォーム確認の際に記録席前で行う。立ち合いは、チーム役員・選手のいずれでもよい。その際、チーム役員の服装(色)及び臨時トレーナーの有無についても確認する。

※11(5)

(2) トス・ユニフォームの確認について、第1試合は、記録席前で試合開始30分前に行う。同時に、登録証も提出する。以降の試合は、前試合の前半終了後に行う。ただし、休憩時間のために試合間隔が長い場合は、当該試合開始時刻の30分前に行う。確認の際には、試合に着用する全ての種類のユニフォームを持参する。希望調整がつかない場合は、組合せ表によるチーム番号の大きいチームが変更する。

(4) ユニフォームについては、下記のとおりとする。

条件に満たない場合は当て布等で覆わなければならない。

その色はユニフォームと同色でなくてもよいが、チーム全員が同色とし、同じデザインにする。

① 番号の大きさ(高さ)は、胸10cm以上・背20cm以上とし、ナンバリングは1~12とする。

② 基調色として、半分以上が同色でなければならない。例えば、左右上下対称色を用いたものは認めない。

③ メーカーのロゴは、20cm以内の目立たないものとする。サポーター等も同様とする。

④ 背に氏名等の文字表記をする場合は、大きさ(高さ)10cm以内とする。

⑤ 試合中にユニフォームが破損したり、血液が付着したりして、競技を続行できない時は、別のユニフォームに着替えなければならない。その場合は、同番号でなく、異なる番号でも問題ない。交代地域にいる別のプレイヤーのユニフォームと交換することも許される。

⑥ チームは、ユニフォームとして「シャツ・パンツ・ソックス」の色をそれぞれ統一すること。ソックスは、

色が揃っていればよく、メーカーのロゴなどは問わない。

(5) ゴールキーパー

- ① チームで同色とする。
- ② コートプレイヤーがゴールキーパーに代わる場合は、登録された同じ番号でなければならない。登録されたゴールキーパーと同色のユニフォームを着用することは許される。

(6) 服装、プレイヤーの装具

- ① プレイヤーはユニフォームの下に、パワーパンツ、コンプレッションショーツ、インナーハーフパンツ、レギンス、長そでなどのウェアを使用できる。ユニフォームの外に見える場合は、以下の規定が適用される。
- ② 長袖のアンダーシャツ・アームスリーブなどは、ユニフォームに使用されている色であれば、使用を可能とする。使用の際は、チームで統一した色とすること。両腕に使用する場合、左右同色でなければならない。
- ③ サイクリングパンツなどユニフォーム（短パン）の下に履くものは、ユニフォーム（短パン）の大部分を占めている色と同色であれば使用できる。ただし、黒色は例外として、ユニフォーム（短パン）の色とは関係なく使用できる。
※ 例）チームのユニフォーム（短パン）が白色の場合、白のサイクリングパンツをはいているプレイヤーと黒色のサイクリングパンツをはいているプレイヤーが混在していても差し支えない。
- ④ すべてのプレイヤーは、靴下を履き、その色はチームで統一された色でなければならない。
- ⑤ 膝下の装具（例：ふくらはぎへのコンプレッションスリーブ、足首の装具など）は、靴下と同色であること。（国内では、足首の装具については、靴下と同色でなくてもよい）
- ⑥ 肘や膝の装具（1か所のみを保護する装具）の色は問わない。
- ⑦ 眼鏡及びスポーツゴーグルを使用する際は、固定バンドの装着を必要とする。ただし、金属製のフレーム等については使用できない。
- ⑧ 詳細は、「JHA保護を目的とした装具」を参照すること。

9 登録証・公認資格証とチーム役員・選手の確認

- (1) 所定の申込を完了した登録証のあるチーム役員・選手のみが競技に参加・出場することができる。
- (2) 交代地域には、監督1名・役員4名・選手20名、計25名以内が入ることができる。
- (3) チーム役員・選手の変更については、10月30日（木）までに、変更申請が完了したことで決定する。変更申請が完了した内容については、一覧を会場にて配付し、掲示する。
- (4) 登録証の取り扱いについては次のとおりとする。
 - ① トスの際には、テクニカルオフィシャル（以下：TO）に登録証を提出する。提出不可、または不備（写真添付なし等）があった場合は、試合に出場・参加することはできない。チーム役員は、公認資格証または資格証に代わるものも提出する。
 - ② TOが試合前に交代地域にてチーム役員・選手及び登録証を確認する。試合中は、TOが登録証

を管理し、試合終了後に両チーム代表者に返却される。

- ③ 失格のチーム役員・選手、裁定委員会に提訴されるチーム役員・選手には、試合後に返却しない。
- (5) チーム役員は、試合中に大会主催者が準備した「A・B・C・D・Eカード」を着用し、チーム責任者は「A」を着用する。また、試合終了後に返却すること。

10 公式記録用紙

- (1) 記録用紙に、ランニングスコアは記載しない。
- (2) チーム責任者は、試合開始前に公式記録用紙に記載されている「役員氏名・カード、選手氏名・背番号」などを責任持って確認し、サインをする。
- (3) 公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

11 交代地域※交代地域：「3.5mラインを始点とし、それぞれのアウトゴールラインからベンチ終端までの位置を終点とする。」

- (1) 各チームのボール等の用具類は、競技開始前にケース等に収納して交代地域内にて管理する。競技開始後は、ボールに触れることを含めてボールの使用を禁止する。
- (2) フロア内へ飲料水等を持ち込む場合は、倒れてもこぼれないスクイズボトルや、蓋付きペットボトル、または、ストロー付きの容器とする。コップの使用は認めない。
- (3) 交代地域では、通信機器の使用を認める。詳細は、JHAホームページ「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」を参照する。
- (4) 試合中、選手が交代地域内で簡単な準備運動をすることは認める。ただし、ボールの使用やコート内への指示・応援、立位のままで観戦することは不可とする。
- (5) チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーと異色の服装でなければならない。トスの際にユニフォームの色が確定した後に、役員の服装の色を確認する。
- (6) チーム役員は、原則として座っていなければならない。ただし、チーム役員1名のみが、戦術的な指示や治療を目的として、交代地域の範囲内で動くことは許される。

12 チームタイムアウト

- (1) チームタイムアウトは、前半・後半に各1回取得できる。延長でのチームタイムアウトはなしとする。
- (2) チームタイムアウト請求カード（グリーンカード）は、チーム役員だけが提出することができる。請求する場合は、記録席まで持参する。提出するために、コーチングエリア（3.5m）を越えたらグリーンカードを提出しなければならない、躊躇することは許されない。ただし、請求および受け取りと判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時があるので、その場合は、グリーンカードをチームに戻す。
- (3) グリーンカードは、常にベンチに置いておかなければならない。請求する時のみ、持つことが許される。

(4) グリーンカードは、TOが直接受け取ってよい。

13 休憩時間（ハーフタイム）

(1) 休憩時間のコート使用は、次試合のチームが練習のため使用する。

(2) ハーフタイムは、8分間だが、次試合のチームのコート使用は7分間とする。タイマーは8分間（減算）でセットし、7分を経過した時点で、ブザーにより通知する。残りの1分間で後半に向けたコート整備の時間とし、準備が整い次第、後半の競技再開とする。

14 テクニカルオフィシャル（TO）、裁定委員会

(1) 本大会は、各試合にTOを配置する。配置は2名を原則とし、マッチオフィシャル（MO）とタイムキーパーを兼務担当するテクニカルデレゲート（TD）、及びスコアキーパーを担当するTDで対応する。

(2) チームタイムアウト請求カード（グリーンカード）は、チーム役員だけが提出することができる。請求する場合は、記録席まで持参する。提出するために、コーチングエリア（3.5m）を越えたらグリーンカードを提出しなければならない、購踏することは許されない。ただし、請求および受け取りと判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時があるので、その場合は、グリーンカードをチームに戻す。

(3) グリーンカードは、常にベンチに置いておかなければならない。請求する時のみ、持つことが許される。

(4) グリーンカードは、TOが直接受け取ってよい。

15 次の試合のチーム役員・選手フロアへの入場

次試合のチーム役員・選手は、前試合が終了後に両チームの挨拶が終了するまで、フロアへの入場を禁止する。競技中に次試合の役員・選手が、フロアで練習をしたり、試合を観戦したりすることがあってはならない。所定の場所で、待機すること。

16 臨時トレーナー

(1) 臨時トレーナーとは、役員登録をしていない公的資格を有するトレーナーを指す。トスの際には、必ずTOに申告する。席は、交代地域から離れた場所に設置する。

(2) 臨時トレーナーは、交代地域やコート内に立ち入ることや応援・指示はできず、自席での対応のみとする。選手は、一時的に交代地域から許可なく離れ、臨時トレーナー席で治療等を受けることができる。

(3) TOが、試合開始前にトレーナーである資格証の提示を求める場合があるので準備しておく。

※会場には、医療スタッフが常駐（あくまでも応急なので、各チームで対応することを原則とする。）しているので、トレーナーを帯同させていないチームは、積極的に相談・活用して良い。

17 表彰

- 男女上位各4チーム（優勝・準優勝・第3位は2チーム）を表彰する。
- 併せて、ベスト7表彰も行う。

18 危機管理

各チーム・各個人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備える。

19 観客席

今大会は、小学生が各県の代表として対戦する大会であり、教育活動の一場面でもある。各チームの役員は、観客席から選手への指示や競技役員への暴言やクレームなどが、絶対にならない**スポーツ・インテグリティを高める大会**になるよう観客席（応援）の態度にも配慮する。また、「競技上の注意」「会場使用上注意」などを徹底させる。